

躍進する 女性陣

第770回

思い切った改革で 労働環境を改善



岡三物流
和泉あや代表取締役

現会長である父を手伝い、開業当初から運送業務に携わってきた岡三物流（愛知県岡崎市）の和泉あや氏は、

昨年7月に代表取締役就任。専務時代から大胆な社内改革を進め、いまも従業員の労働環境改善に努めている。

「この一心で固辞しているという。そんな和泉氏が従業員の働き方に疑問を抱いたのは、2024年問題

が注目される以前のこと。残業ウェルカムな古い体質に危機感を覚え、当時のその心の葛藤は、「やめてしまお

うかと思った」と振り返るほどだ。

一大決心して改革に乗り出した和泉氏に周囲は猛反対。唯一賛同してくれた役員とともに孤軍奮闘し、メイソン会社との取引から撤退、木更津営業所を廃止したことで売り上げは3割落ちたが、真の目的である労働環境の改善を実現させた。

「従業員には会社の弱みを見せない方針だったが、全体ミーティングで真実を話し、コスト削減などの

協力を仰いだ」と和泉氏。その結果、チームワークという副産物が得られ、社内コミュニケーションの活性化も図れた。

3年前、同社は名古屋営業所を開設。24時間入搬出可能な事業用自動車車庫は、中継地点としての高い評価を得ている。代表を任ざれてからの1年は、それまでの内向き志向を改め、外部団体の会合やセミナーへ積極的に参加し見聞を広めてきた。「今後は横のつながりを生かして、協力会社間で中継地点を作れたら最高」と笑顔を見せる和泉氏は、連携強化やドライバーの負担軽減につながる新展開に気力十分だ。

（富田 香）